

## 株 主 メ モ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

定時株主総会の基準日 3月31日

期末配当の基準日 3月31日

(尚、中間配当を実施する時の基準日は9月30日)

上場取引所 名古屋証券取引所セントレックス市場

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 〒168-0063

(郵便物の送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
(証券代行事務センター)

(電話お問合せ) TEL:0120-78-2031(フリーダイヤル)

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

会 計 監 査 人 霞が関監査法人

■お知らせ  
住所変更、名義書換請求および配当金振込指定に必要な手続用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-87-2031およびインターネットのホームページ([http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html))で24時間受付しております。

IR情報は当社のホームページでも  
ご覧いただけます。  
ぜひ一度アクセスしてください。

<http://www.commseed.net/>



## コムシード株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町一丁目3番1号

NBF小川町ビルディング5F

TEL:03-5217-5811(代) FAX:03-5217-5812

## 株主の皆様へ



## 第17期事業活動のご報告

平成19年4月1日～平成20年3月31日



# COM M SEED

## コムシード株式会社



## 基本方針

- 高品質なコンテンツへのこだわり
- コミュニケーション機会の創造
- ユーザー本位のサービス徹底

## 事業展開

中核であるモバイル事業に  
経営資源を集約し、業績回復へ  
向けた経営基盤の強化を図る

## 目標

- ● ● ● 情報サイト ● ● ● ● 新規サイトの企画制作・配信
- ● ● ● メーカー公式サイト ● ● ● ● 既存サイトの充実と拡大
- ● ● ● コンテンツ ● ● ● ● 自社モバイルコンテンツの多面的な展開

# 新たな エンター テインメント・ コミュニティ の創造

## T o Our Shareholders



代表取締役社長CEO  
石井 博規

モバイル事業への経営資源の集約により、  
平成21年3月期の黒字化を確実なものとし、  
コンテンツ企業としてのより大きな発展に向けた礎を築いてまいります。

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第17期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）事業活動のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

さて、当社は平成12年よりモバイルコンテンツの開発・サービス運営を行っており、携帯電話やインターネットの目覚ましい普及を追い風に順調に成長してまいりました。当期におきましては、主力事業であるパチンコ・パチスロを主とする携帯情報ポータル及びメーカー公式サイトにおけるアプリの配信やコンテンツの拡充は計画通りに推移しましたが、Eコマースなど不採算事業の整理、そして予定していたオンラインゲームの海外売上高及びコミュニティ事業の売上高が計画を下回ったため、全社売上高は前年を下回る結果となりました。

当期は新たにオンラインゲーム事業及びコミュニティ事業をそれぞれ立ち上げましたが、海外市場環境の急速な変化及び競争の激化等により、今後事業を拡大推進していくためには一層の資本の投下が必要となり、平成20年3月末をもって当該事業を整理することと致しました。このことにより、株主の皆様にご心配をおかけしましたこととお詫び申し上げます。当社にとりましての最重要課題である早期黒字回復の実現のためにも、やむを得ない選択でありましたことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

今後は、創業以来経験とノウハウを積み重ねてきたモバイル事業に経営資源を集中させ、まず平成21年3月期の黒字化を確実なものとし、コンテンツ企業としてのより大きな発展に向けた礎を築いてまいります。

また、モバイル・オンライン技術が急速に進化する現在の環境下にあっては、「コンテンツの楽しみ方の多様化」、「オンラインでのコミュニケーションの活性化」、「エンターテインメントニーズのボーダレス化」などのチャンスが発生しております。こうした時代のチャンスを捉えるため、当社グループのミッションである「新たなエンターテインメント・コミュニティの創造」を十分に踏まえ、「高品質なコンテンツへのこだわり」、「コミュニケーション機会の創造」、「ユーザー本位のサービス徹底」を経営の基本方針に掲げ、市場に即応した事業展開を推進し、経営基盤の強化を図ってまいります。

さらに、コンテンツビジネス、エンターテインメントビジネスにおける競争は依然加熱化の傾向にありますが、「現状維持こそが最大のリスクである」と認識し、当社グループの中核であるモバイル事業の企画開発力を活かしつつ、コンテンツの迅速な開拓・拡大に努めてまいりますので、末永いご支援のほど、何卒よろしく願い申し上げます。

# R eview of Operations

## モバイル事業

当社の主力であるモバイル事業は、パチンコ・パチスロをはじめとする特定ジャンルのファンに対し、着メロやアプリ等を配信する携帯公式サイトを運営しております。当事業が属する市場は、第3世代携帯電話等の高速データ通信が可能な端末の割合がさらに上昇し、大容量コンテンツの配信が加速するとともに、パケット定額制が普及し、端末の多機能化と合わせて、ユーザーの利用用途も拡大しています。

また、パチンコ業界を取り巻く環境につきましては、遊技人口の減少に加え、遊技機規則改正に伴うパチスロ旧基準機の入替えの負担が重なり、中小規模の店舗を中心に閉店を余儀なくされ、店舗数が大幅に減少しています。

このような環境のもと、当社のパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」、パチンコ・パチスロに特化した音楽配信サイト「パチメロEX」及び「パチメロ大集合」につきましては、有料会員数は依然減少傾向にあります。しかしながら、メーカー公式サイトにつきましては、アプリの配信、コンテンツの拡充が計画通り推移（※参照）し、かつオリジナル商品の販売も順調でありました。

以上の結果、売上高1,271百万円、営業利益299百万円、有料会員数は約33万人となりました。また、当社のパチンコ店舗向けASPサービス（有料店舗情報サービス）につきましては、パチンコ店舗の統廃合の影響もあり、当期末現在で113店舗と減少いたしました。

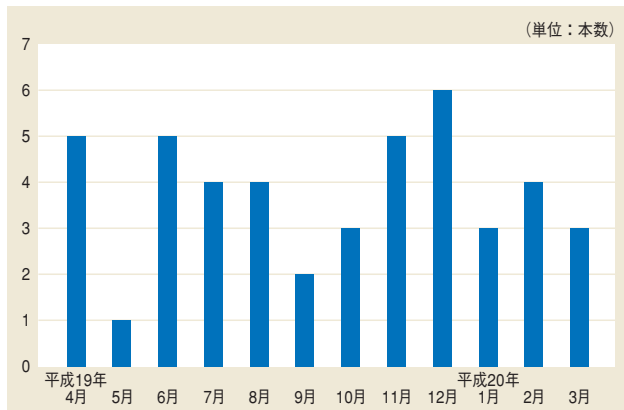
## 今後の課題と事業展開

当社では、自社の強みとそれを活かせる領域を再認識したうえで、「事業の選択と集中の徹底」、「意思決定及び実行スピードの向上」により、創業以来経験とノウハウを積み重ねてきたモバイル事業にまず経営資源を集中させ、業績回復へ向けた経営基盤の強化を図り、平成21年3月期の確実な黒字化に努めます。

その実現に向け、当事業では、以下の施策を講じてまいります。

- ① オフィシャルサイトを運営しているメーカーとのアライアンスを強化し、既存サイトの拡充はもとより、パチンコ・パチスロの新機種導入時のタイムリーな情報や携帯アプリの早期配信により顧客満足を最優先としたサービスを提供してまいります。

※月別新規アプリ・サービスリリース本数実績

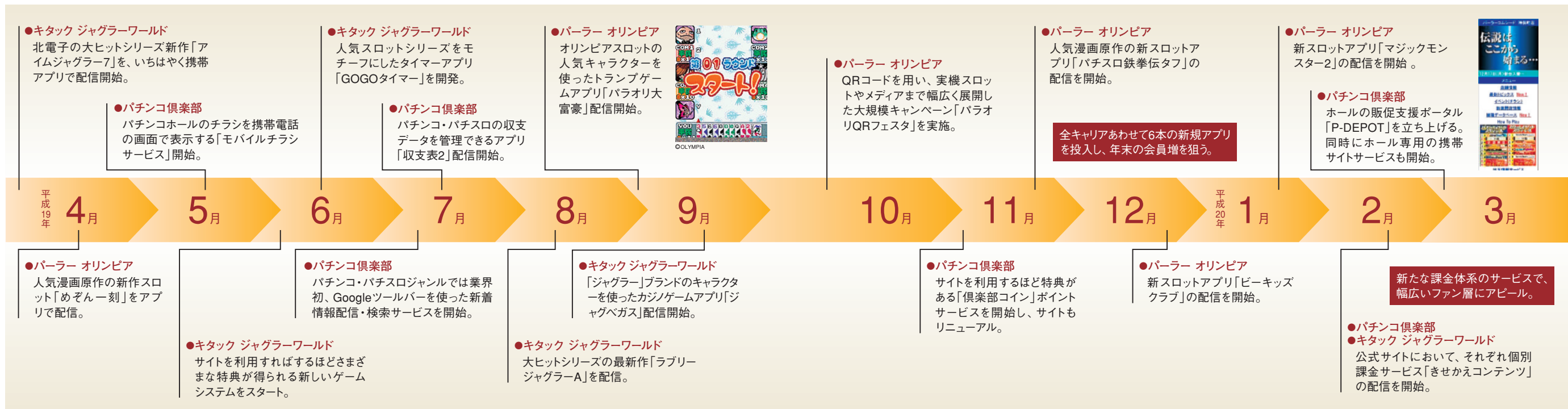


- ② パチンコ店舗向けASPサービス（有料店舗情報サービス）につきましては、平成20年2月より、パチンコ・パチスロ店舗向けソリューション開発・販売を行うブレモ株式会社との業務提携により、今後はより利便性の高いサービスのパチンコ店舗への提供・サービスラインナップの拡充を図ってまいります。
- ③ 自社モバイルコンテンツの他、他メディアへの多面的な展開を図ってまいります。

これらの施策により、安定した成長と着実な収益を確保しつつ、中長期的には売上高経常利益率15%の達成を目標とします。また、国内及び海外市場におけるコンテンツの開拓・版權取得・販売展開等の業容拡大につきましても、経営資源の投入を行う方針ではありますが、資金の状況や予測を勘案しながら、キャッシュ・フローを重視した事業展開を推進してまいります。







### 上期 TOPICS

当期上期では、各キャリア対応を含め、合計21本のアプリ・新サービスをリリースし、前年上期の14本を大きく上回りました。中でも「キタック ジャグラーワールド」では、人気の「ジャグラー」シリーズの大ヒット機種をいち早く携帯アプリとして世に出したことで、新たな利用者の獲得に繋がっています。また、パチンコ店のチラシを携帯で表示するサービスなど、当社のモバイル技術を活かした新展開を行っております。



モバイルチラシサービス



アムジャグラー7

### 下期 TOPICS

当期下期では、合計24本(前年同期19本)のアプリ・新サービスをリリースしております。また、「パチンコ倶楽部」においては、利用者の皆様が使えば使うほどメリットが得られるポイントサービスの導入など、既存サービスの大幅な改良を行いました。また2月には「パチンコ倶楽部」「キタック ジャグラーワールド」において、新しい携帯端末を中心に大きな伸びを見せ現在注目を浴びる「きせかえコンテンツ」市場に参入。パチンコ/

スロットファンの携帯電話をカスタマイズする新しいサービスとして、利用者の支持を得ています。



▲きせかえコンテンツイメージ

連結貸借対照表

科目	当期	前期
	(平成20年3月31日現在)	(平成19年3月31日現在)
<b>■資産の部</b>		
流動資産	1,175,340	1,419,027
現金及び預金	767,433	1,007,555
売掛金	296,377	355,895
たな卸資産	25,161	27,164
その他	86,385	28,421
貸倒引当金	△17	△10
固定資産	219,973	307,881
有形固定資産	6,993	10,230
無形固定資産	87,277	216,628
ソフトウェア	8,374	92,702
商権	74,602	118,602
その他	4,301	5,323
投資その他の資産	125,701	81,022
投資有価証券	6,409	29,260
繰延税金資産	—	2,800
保証金	119,292	—
その他	—	48,962
資産合計	1,395,313	1,726,909

(単位:千円)

科目	当期	前期
	(平成20年3月31日現在)	(平成19年3月31日現在)
<b>■負債の部</b>		
流動負債	464,871	269,545
買掛金	160,914	166,664
短期借入金	—	11,000
未払法人税等	2,979	10,086
前受金	96,206	—
賞与引当金	8,271	9,021
ポイント引当金	—	853
事業整理損失引当金	100,000	—
その他	96,500	71,919
固定負債	558,856	32,575
新株予約権付社債	500,000	—
退職給付引当金	19,206	13,246
役員退職慰労引当金	19,329	19,329
その他	20,320	—
負債合計	1,023,727	302,120
<b>■純資産の部</b>		
株主資本	376,198	1,449,102
資本金	663,000	663,000
資本剰余金	648,500	648,500
利益剰余金	△917,946	154,957
自己株式	△17,355	△17,355
評価・換算差額等	△4,611	—
その他有価証券評価差額金	△827	—
為替換算調整勘定	△3,784	—
少数株主持分	—	△24,314
純資産合計	371,586	1,424,788
負債及び純資産合計	1,395,313	1,726,909

連結損益計算書

科目	当期	前期
	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)	(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
売上高	1,287,691	1,403,326
売上原価	745,369	715,432
売上総利益	542,321	687,893
販売費及び一般管理費	1,121,651	719,157
営業損失	579,329	31,264
営業外収益	20,430	700
営業外費用	4,708	3,881
経常損失	563,607	34,444
特別利益	70,501	10,533
特別損失	515,207	91,182
税金等調整前当期純損失	1,008,312	115,093
法人税、住民税及び事業税	2,495	24,886
法人税等調整額	—	79,730
少数株主損失	1,322	52,581
当期純損失	1,009,485	167,128

(単位:千円)

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期	前期
	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)	(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△321,637	△72,137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△415,302	△174,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	507,000	587,381
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,182	—
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△240,122	340,384
現金及び現金同等物の期首残高	1,007,555	667,170
現金及び現金同等物の期末残高	767,433	1,007,555

(単位:千円)

連結株主資本等変動計算書

当期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日 残高	663,000	648,500	154,957	△17,355	1,449,102				△24,314	1,424,788
連結会計年度中の変動額										
当期純損失			△1,009,485		△1,009,485					△1,009,485
連結子会社の売却に伴う増減			△62,605		△62,605					△62,605
持分法適用会社の売却に伴う増減			△813		△813					△813
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					—	△827	△3,784	△4,611	24,314	19,702
連結会計年度中の変動額合計			△1,072,904		△1,072,904	△827	△3,784	△4,611	24,314	△1,053,201
平成20年3月31日 残高	663,000	648,500	△917,946	△17,355	376,198	△827	△3,784	△4,611	—	371,586

個別貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
<b>■資産の部</b>		
流動資産	941,483	1,439,806
固定資産	219,903	291,564
有形固定資産	6,993	9,718
無形固定資産	87,277	180,998
投資その他の資産	125,631	100,847
資産合計	1,161,386	1,731,371
<b>■負債の部</b>		
流動負債	309,297	252,640
固定負債	581,065	32,575
負債合計	890,363	285,216
<b>■純資産の部</b>		
株主資本	271,850	1,446,154
資本金	663,000	663,000
資本剰余金	648,500	648,500
利益剰余金	△1,022,294	152,009
自己株式	△17,355	△17,355
純資産合計	271,023	1,446,154
負債純資産合計	1,161,386	1,731,371

個別損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	1,269,315	1,403,996
売上原価	703,643	715,553
売上総利益	565,671	688,443
販売費及び一般管理費	684,221	592,179
営業利益	△118,549	96,264
営業外収益	24,543	2,532
営業外費用	233	3,857
経常利益	△94,239	94,938
特別利益	5,543	10,533
特別損失	1,083,891	193,782
税引前当期純損失	1,172,587	88,309
法人税、住民税及び事業税	1,716	24,706
法人税等調整額	—	78,456
当期純損失	1,174,304	191,472

個別株主資本等変動計算書

当期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計
	資本準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計					
平成19年3月31日 残高	663,000	648,500	648,500	892	151,117	152,009	△17,355	1,446,154		1,446,154
事業年度中の変動額										
当期純損失					△1,174,304	△1,174,304		△1,174,304		△1,174,304
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)								△827	△827	△827
事業年度中の変動額合計					△1,174,304	△1,174,304		△1,174,304	△827	△1,175,131
平成20年3月31日 残高	663,000	648,500	648,500	892	△1,023,186	△1,022,294	△17,355	271,850	△827	271,023

〉 会社概要

(平成20年3月31日現在)

商号 コムシード株式会社  
 所在地 〒101-0052  
 東京都千代田区神田小川町一丁目3番1号  
 NBF小川町ビルディング5F  
 設立 平成3年12月13日(平成14年8月5日現商号に変更)  
 資本金 6億6,300万円  
 従業員数 40人  
 役員 (平成20年6月26日現在)  
 代表取締役社長CEO 石井 博規  
 専務取締役CTO 羽成 正己  
 常務取締役 坂入 万弘  
 取締役 金 正律  
 取締役 林 哲賢  
 取締役 鄭 聖勳  
 取締役 前川 浩史  
 監査役 飯田 三郎  
 監査役 島根 伸治  
 監査役 南 敦

事業内容

- コンピューターネットワークを利用した情報処理サービスならびに情報提供サービス
- コンピューターソフトウェアの開発・制作・仕入・販売・輸出入

取引銀行

三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行、三菱東京UFJ銀行

〉 株式の状況

(平成20年3月31日現在)

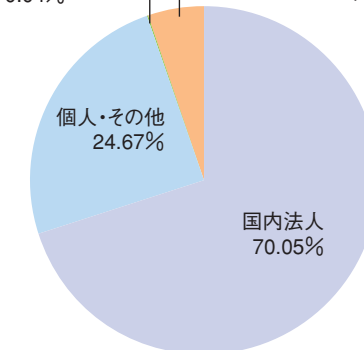
発行可能株式総数 120,000株  
 発行済株式の総数 37,500株  
 株主数 917名

〉 大株主

株主名	所有株式数(株)	出資比率(%)
株式会社サイカン	20,572	55.10
CBC株式会社	1,970	5.28
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,930	5.17
株式会社平和	816	2.19
福島雄二	800	2.14

〉 株式の所有者別状況

証券会社 0.04% 外国人 5.22%



(注) 小数点第3位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%になりません。